

授業科目名・形態	哲学	講義	必修・選択の別	選 択
担当者氏名	五十嵐 靖彦	開講期	1年～2年前期	単位数 2

【授業の主題】 哲学で取り扱われるテーマは数多くありますが、本講義ではまず哲学の学問としての一般的語義や特徴を解説した後、善悪や徳、幸福、健康、福祉等、特に人間の生き方や倫理にかかわる諸問題について先人の思索の成果を参考にし、その要点を考察する。

【到達目標】

- 1) 世界や社会について、「なぜ？」と深く追求する哲学的態度を身につけること。
- 2) 人間は「単に生きる」のではなく、「善く生きるべき」という先人（ソクラテス）の知恵を学び取ること。
- 3) それを踏まえて自ら充実した意義深い人生を送るよう勤めること。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 哲学とはどういう学問か
- 第 2 回 ギリシア哲学の遺産
- 第 3 回 哲学と倫理学
- 第 4 回 哲学・倫理学上のいくつかのキーワードについて（人格、行為、責任等）
- 第 5 回 哲学・倫理学上のいくつかのキーワードについて（徳、愛、自律等）
- 第 6 回 「幸福」の哲学について
- 第 7 回 「健康」の哲学について
- 第 8 回 「看護」の哲学について
- 第 9 回 「福祉」の哲学について
- 第 10 回 「介護」の哲学について
- 第 11 回 中間段階での理解確認ミニテスト及び解説
- 第 12 回 西洋文明の源流について
- 第 13 回 哲学史にみる人間の自己認識の歩み ①
- 第 14 回 哲学史にみる人間の自己認識の歩み ②
- 第 15 回 哲学史にみる人間の自己認識の歩み ③

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

次回に取り扱うテーマについての資料を事前に配布するので目を通して置くこと。

【教科書等】

教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

【参考文献】

必要に応じてその都度指示する。

【成績評価方法】

平常点（出席・ミニテスト 20%）と期末テスト（80%）の合算。

【学生へのメッセージ】

毎回の授業について配布されている資料にざっと目を通して置くこと。